

現総合振興計画

将来像を達成するための10の視点

- 1 行財政改革の推進
- 2 人権尊重意識の高揚
- 3 都市の安全の確保
- 4 学校、家庭、地域の教育力の向上・養成
- 5 安心子育て支援策の充実
- 6 シニア社会への対応
- 7 健康増進・福祉・地域医療体制の充実
- 8 自然環境との共生
- 9 魅力ある居住空間の整備
- 10 地域経済の再生と活性化

最上位計画たたき台

① だれもが元気で活力のあるまちをつくる

少子高齢化の進行により社会保障費の増大が避けられない状況の中、市民ニーズに応えた施策展開を進めるためには、市民の健康づくりが重要となります。そこで、文化・スポーツや生涯学習などの活動を促進することにより、子どもからお年寄りまでの「だれもが元気で活力のあるまち」を目指します。

② 子育てや教育の充実したまちをつくる

ふじみ野市人口ビジョンで示した市民の希望出生率「1.8」に向かって、市民がこのふじみ野市なら多くの子どもを安心して産み育てられると思うことができる「子育てや教育の充実したまち」を目指します。

③ 賑わいや美しさの中にも強さのあるまちをつくる

人口が増加するなか、賑わいが創出され地域が活気に満ちたまちづくりを行うとともに、自然を残しつつ都市景観の美しさに配慮した都市整備を行います。また、近年の地震や大型台風、集中豪雨、竜巻などの自然災害が頻発している状況を踏まえ、都市型災害対策や震災対策により「賑わいや美しさの中にも強さのあるまち」を目指します。

④ 地域力の高いまちをつくる

市民ニーズの多様化により、行政だけで全ての問題を解決していくことは難しい状況にあります。そこで、地域住民自らが地域課題の解決に向けた取り組みや、市民団体（NPO法人等）の活動を支援することで「地域力の高いまち」を目指します。